ＦＨＤ見張隊ｐｒｏ　カメラ設置マニュアル

表

本紙は、ＦＨＤ見張隊ｐｒｏのカメラの設置方法について、説明します。
カメラは水の浸入に対する保護等級 IP66（あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない）相当の仕様を有しており、風雨にさらされても問題はありません。長く大切にご使用いただくために、雨や日差しを避けた設置環境（軒下など）をお勧めします。
カメラを設置する際、地域の条例やガイドラインに従って設置してください。撮影箇所により、許可・届出等が必要な場合があります。

カメラ・録画装置を設置する前に、別紙の「安全上のご注意」をお読みください。

1．注意事項

・ 設置する際の注意事項です。よくお読みください。

⚠警告

- 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けないでください。カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。
- 壁面内の配線や配管（ガス管・水道管等）を傷つけないように取り付けてください。ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。
- AC100V 商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本装置は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因になります。
  また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。
- 万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- カメラを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

- 壁の穴開け工事については、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- モルタル塗装の場合、穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。
- カメラを次のようなところへの設置は避けてください。
  - ・火気のそば
  - ・油飛びや湯気が当たるような場所
  - ・不安定な場所
  - ・ほこりが多い場所
  - ・極度に振動が激しい場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
  - ・極度に高温や低温になる場所
  - ・直射日光が当たるところ

2．カメラの部品

・カメラの箱の中に次の部材が入っています。
　万一、不足や損傷しているものがあるときは、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社へご連絡ください。

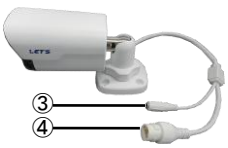
カメラ×1	ネジ・アンカープラグ×各 5	ステッカー×1	防水部材×各 1

3．外観

・カメラを正しく設置するために、下記の外形寸法を確認してください。

【外形寸法と外観】

【ケーブル接続】



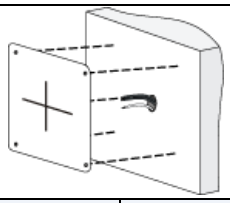
同梱品の LAN ケーブルの長さは約 15m です。15m 以上の距離で引き回しする場合、お客様側で LAN ケーブルや延長コネクタ等を準備してください。

① リセットボタン:カメラを工場出荷時に戻す場合、15 秒間以上押してください。
② 接地端子：使用しません。
③ 電源端子：使用しません。
④ ネットワークインターフェース：
　LAN ケーブルを接続します。
　防水対応する場合は、「５．ケーブルの防水方法」を参照してください。

裏

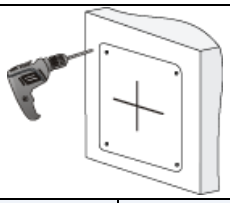
4．カメラの取り付け方法

・カメラを壁に取り付ける場合を例に説明します。あらかじめ LAN ケーブルを通しておいてください。



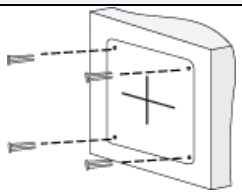
① 穴の位置を探します。
付属のステッカーを壁に貼り付け、壁の穴に十字の中心を合わせます。

② 壁の穴から LAN ケーブルを引き出します。

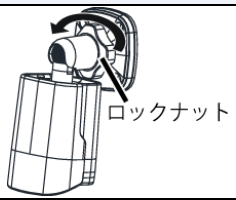


③ 壁に穴を開けます。
φ6～6.5mm のドリルビットを使用します。

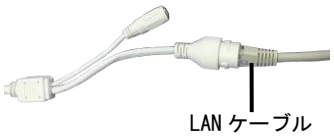
④ ステッカーでマークされた位置に応じて 30 ミリメートルの深さのガイド穴を開けます。



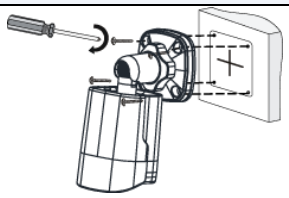
⑤ ガイド穴に、アンカープラグを押し込んで入れます。



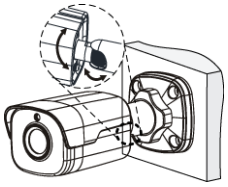
⑥ カメラを取り付ける前に、ユニバーサルジョイントを緩めるため、ロックナットを反時計回りに回して緩めます。



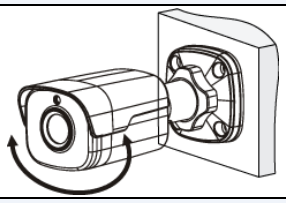
⑦ LAN ケーブルを接続します。



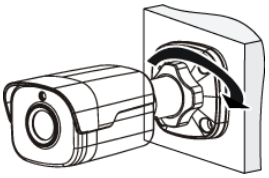
⑧ ベースのガイド穴を通し、ドライバーでネジを締めて壁に密着させます。



⑨ 必要に応じて、ユニバーサルジョイントの開口部を調整します。



⑩ カメラの球状ヒンジを回転させます。

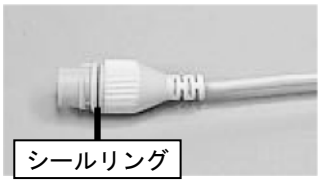


⑪ ロックナットを締めます。

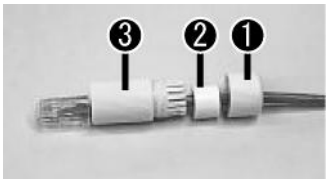
⑫ 録画装置に接続し、電源を入れて、映像を確認しながら、カメラ向きを調整します。

5．ケーブルの防水方法

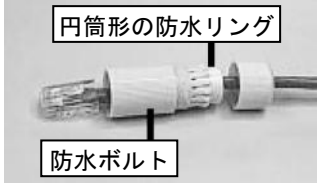
・LAN ケーブル接続部および電源端子が濡れる可能性がある場合、市販の自己融着テープを巻いて防水します。（下記⑦）
・LAN ケーブルを延長等により自作する場合、コネクタを付ける前に付属の防水部材を取り付けることができます。（下記①～⑥）



① 防水コネクタにシールリングを取り付けます。

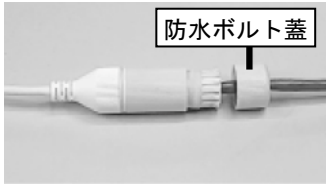


② LAN 端子に、防水部品を番号順に挿入します。



③ 円筒形の防水リングを、防水ボルトの中に挿入します。

④ コネクタの中にケーブルを挿入し、防水ボルトをねじ込みます。



⑤ 防水ボルト蓋に、ねじ込みます。

⑥ LAN 端子の防水処理を完了します。

⑦ 電源端子部および LAN ケーブル接続部を、市販の自己融着テープを巻いて防水します。

お問い合わせ　株式会社 レッツコーポレーション

●カスタマーサービス　受付時間：９：３０～１８：００　（土曜、日曜、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）
ＴＥＬ：０５２－２０９－７８６０　ＦＡＸ：０５２－２０１－５０５０
〒４６０－０００２愛知県名古屋市中区丸の内二丁目２０－１　レッツ丸の内本社２号館ビル
ＵＲＬ：https://lets-co.jp

2026/06　Ver.1.03